^r 200	4年度 内定状	代況及び採用済	舌動に関する	アンケート」	
					1
	株: 就職事業本部	本調査に関するお問 式会社毎日コミュニ 企画広報部 企画 2/FAX03(3288)0314/E	-ケーションズ 惟進課 栗田・佐!	野・岩崎 m co in	

MYCのM 毎日コミュニケーションズ 2004年9月22日

「2004年度 内定状況及び採用活動に関するアンケート」

TNDEX

2 P 調査概要 採用充足率 3 P 採用満足度 4 P 採用満足度の年次推移・・・・・・・ 5 P 学生の能力についての印象 ・・・・ 6 P 採用基準 • • • • • • • • • • • • • • • • 7 P 昨年と比較しての厳しさ ・・・・ 8 P 採用活動が厳しいと感じた理由 9 P 大卒者に内定を出す際に重視する項目 - 10 P 進捗状況と今後の採用活動予定 11 P 新卒採用で充足しなかった場合の対応 12 P 内定辞退の昨年比増減 ·・・・・・ 企業の倫理憲章の影響 ·・・・・・ 13 P 14 P • 15 P 16 P 採用情報公開時期とツール・・・・ 17 P セミナー開始/内々定出しの時期 18 P • 19 P エントリー受付け経路 ・・・・・・ - 20 P • 21 P 導入している採用手法・形態 ・・ - 22 P 23 P

調査概要

調査名 / 「2005年卒者内定状況及び採用活動に関するアンケート」

<u>調査方法 / 回答用紙を郵送、Faxにて返送</u>

調査期間 / 2004年7月23日(金)発送、8月10日(火)受付締切り

<u>アンケート送付対象 / 国内優良企業5.668社</u>

回答 / 969件 【回答の内訳 『上場·店頭公開企業』305社:『未上場企業』664社】

【回答の内訳 『製造業』331社:『非製造業』638社】

有効回答率 / 5.84%

備考/~1999年までは10月実施。2000年より採用戦線の早期化を鑑み7月に変更。

採用充足率

大手企業群を中心に採用充足率は昨年を若干上回る。

全体的に雇用意欲に回復傾向が見られるなか、7月中旬時点での充足率は4年連続で前年を上回り、全体で1.1%増の 90.9%となった。(表1)

グループ別に見ると、特に「製造業」や「未上場」のグループで伸びが大きい。一部大手企業の採用数拡大だけでなく、

全体的に雇用意欲が高まっていることが伺える。 しかしながら、「上場・店頭」グループと「未上場」グループの2グループで比較すると充足率に9.8%の開きが生じている。 男子学生を中心に大手志向の就職活動に回帰する学生が多い中、「大手企業有利の採用活動」という構図が強くなって いるようだ。(表2)

採用充足率 【採用充足率=回答のあった「全内定者数」/「全募集人数」;どちらか片方のみ記入のデータは原則としてカウントせず】

	200	4年度充足率		200	03年度充足	.率	200)2年度充足	率
	募集人数(人)	内定者数(人)	充足率	募集人数	内定者数	充足率	募集人数	内定者数	充足率
全体	32,719	29,079	90.9%	28,849	25,897	89.8%	29,603	25,914	87.5%
大学院	586	572	97.6%	1,303	1,290	99.0%	1,577	1,505	95.4%
4大文系	5,530	4,966	94.8%	10,546	9,776	92.7%	13,918	12,594	90.5%
4大理系	1,131	1,043	94.8%	1,685	1,422	84.4%	4,110	3,307	80.5%
院+理系	5,739	5,364	97.1%	5,798	5,426	93.6%	5,137	4,163	81.0%
短大	660	481	91.1%	578	445	77.0%	1,499	1,148	76.6%
専門学校	669	462	77.4%	1,220	941	77.1%	1,326	1,010	76.2%
不問	11,524	10,125	90.4%	7,719	6,597	85.5%	2,036	2,187	107.4%

(04年有効回答数969社、03年有効回答数898社、02年有効回答数906社) 【表1】

上場・店頭公開:未上場グループ/製造業:非製造業グループ別充足率

	全	:体	上場·店	頭公開	未	上場	製造	造業	非製	造業	Ī
	90.9%	昨年	95.2%	昨年	85.4%	昨年	97.4%	昨年	87.3%	昨年	I
全体	30.370	89.8%	33.2/0	94.3%	00.470	83.8%	37.4/0	94.8%	07.3/0	87.3%	I
大学院	97.6%	99.0%	97.4%	101.3%	98.9%	94.5%	97.4%	102.3%	100.0%	88.3%	
4大文系	94.8%	92.7%	96.8%	99.1%	89.3%	85.2%	97.5%	93.7%	93.0%	92.3%	
4大理系	94.8%	84.4%	110.5%	88.7%	80.9%	79.3%	104.7%	89.6%	73.8%	78.5%	
院+理系	97.1%	93.6%	100.6%	96.8%	86.3%	85.2%	99.7%	96.4%	88.6%	87.4%	
短大	91.1%	77.0%	85.6%	81.6%	93.1%	72.0%	89.3%	63.9%	97.6%	80.0%	
専門学校	77.4%	77.1%	71.3%	73.8%	79.8%	78.7%	88.9%	97.5%	73.8%	74.9%	
不問	90.4%	85.5%	97.5%	87.6%	84.6%	82.9%	94.3%	88.4%	89.5%	85.3%	[

【表2】

cf.採用充足率の推移(~1999年まで10月調査:2000年より8月に実施)

	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04
全体						88.8%	93.3%	82.6%	84.4%	87.5%	89.8%	90.9%
大学院生	90.9%	104.5%	102.2%	98.7%	86.2%	97.5%	93.0%	75.1%	87.9%	95.4%	99.0%	97.6%
4大文系	98.4%	100.0%	99.0%	94.3%	97.5%	90.8%	97.7%	91.1%	87.2%	90.5%	92.7%	94.8%
4大理系	88.6%	93.3%	85.9%	84.2%	86.0%	84.9%	90.0%	74.7%	74.2%	80.5%	84.4%	94.8%
院+理系									99.0%	81.0%	93.6%	97.1%
短大生	96.3%	93.6%	95.4%	89.3%	86.9%	84.1%	83.0%	71.8%	61.1%	76.6%	77.0%	91.1%
専門学校生	96.2%	94.9%	100.0%	85.1%	89.6%	87.7%	82.1%	77.0%	78.3%	76.2%	77.1%	77.4%
不問									89.7%	107.4%	85.5%	90.4%

【表3】

採用満足度

「質・量とも満足」が大幅に減少。一昨年の水準に戻る。

採用の「質・量ともに満足」、という回答は全体の総合評価で38.4%(昨年比5.6%減)となり、40%を超えた昨年の満足度からは大きく後退した。(表1,グラフ1) 特に院生採用について昨年比7.1%減と大きくポイントを下げている。製造業の雇用が比較的回復傾向が強いことを反映して

技術系院生の採用競合が高まった為、「質・量とも満足」を満たす程の評価にはつながらなかったようだ。

グループ別に見ていくと「上場・店頭」グループは総合評価で「質・量とも満足」の評価は3.4%減、「質は満足・量は不満」 は5.6%増加と、概ね質には満足しているものの量的には不足感が伺える。特に4大文系に関しては不満が多いようだ。

「未上場」グループでは総合評価で「質・量とも満足」の評価は5.2%減、「質は満足・量は不満」は5.4%増加している。 ここでは院生で「質・量とも満足」の満足度が16.3%減と大きく後退する結果となった。

「製造業・非製造業」グループで比較すると総合評価で「質・量とも満足」の評価の落ち込みは「非製造業」の6.9%減と減少 が強く見られた。今年は製造業において積極的な採用活動がみられ、その状況が表れた結果となったようだ。

【全体】	質·量	も満足	質は満足	・量は不満	質は不満	·量は満足	質·量	:も不満
	38.4%	昨年	30.4%	昨年	15.9%	昨年	15.3%	昨年
総合評価	30.4%	44.0%	30.4%	24.5%	15.9%	18.2%	15.5/6	13.4%
大学院生	64.3%	71.4%	15.8%	11.6%	10.7%	9.5%	9.3%	7.5%
4大文系	39.3%	43.7%	26.6%	21.2%	19.8%	21.2%	14.3%	13.9%
4大理系	44.1%	44.8%	26.4%	23.1%	14.9%	18.5%	14.6%	13.7%

【表1】

【上場·店頭】	質·量·	質・量とも満足		・量は不満	質は不満	量は満足	質・量とも不満	
	49.0%	昨年	26.0%	昨年	16.7%	昨年	8.3%	昨年
総合評価	49.0%	52.4%	20.0%	20.4%	10.7%	17.2%	0.3%	10.0%
大学院生	71.0%	70.5%	12.3%	11.4%	9.0%	9.1%	7.7%	9.1%
4大文系	46.2%	53.0%	23.1%	17.8%	19.8%	17.0%	10.9%	12.2%
4大理系	49.7%	48.5%	24.3%	19.3%	16.0%	18.8%	9.9%	13.4%

【表2】

【未上場】	質·量·	質・量とも満足		・量は不満	質は不満・量は満足		質・量とも不満	
	33.1%	昨年	32.6%	昨年	15.5%	昨年	18.8%	昨年
総合評価	33.1%	38.3%	32.0%	27.2%	15.5%	18.9%	10.0%	15.7%
大学院生	56.6%	72.9%	19.9%	11.9%	12.5%	10.2%	11.0%	5.1%
4大文系	35.1%	36.9%	28.7%	23.7%	19.8%	24.3%	16.4%	15.1%
4大理系	40.3%	41.5%	27.8%	26.3%	14.1%	18.2%	17.9%	14.0%

表3】

【製造業】	質·量と	:も満足	質は満足・量は不満		質は不満	量は満足	質・量とも不満	
	49.7%	昨年	25.3%	昨年	13.4%	昨年	11.6%	昨年
総合評価	43.7%	52.2%	25.5%	17.9%	13.4%	15.7%	11.0%	14.2%
大学院生	67.3%	71.1%	14.0%	12.7%	8.8%	10.2%	9.9%	6.0%
4大文系	47.8%	51.5%	22.7%	19.2%	16.3%	16.7%	13.3%	12.6%
4大理系	47.9%	47.7%	23.5%	22.0%	16.0%	16.8%	12.7%	13.6%

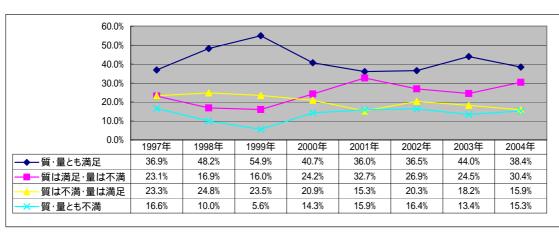
【表4】

【非製造業】	質·量と	質・量とも満足		質は満足・量は不満		量は満足	質・量とも不満	
	32.6%	昨年	33.0%	昨年	17.2%	昨年	17.2%	昨年
総合評価	32.0%	39.5%	33.0%	27.9%	17.2%	19.6%	17.270	13.0%
大学院生	60.0%	71.9%	18.3%	10.2%	13.3%	8.6%	8.3%	9.4%
4大文系	34.5%	39.3%	28.9%	22.4%	21.9%	23.8%	14.9%	14.6%
4大理系	40.7%	42.0%	29.0%	24.1%	13.9%	20.1%	16.5%	13.8%

【表5】

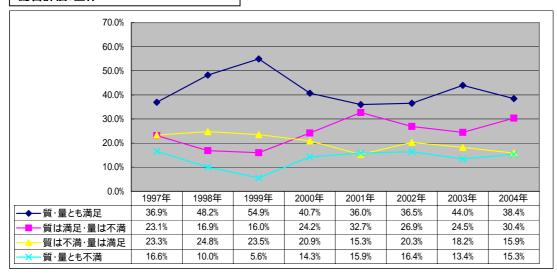
【採用満足度】 全体総合評価年次推移

【グラフ1】

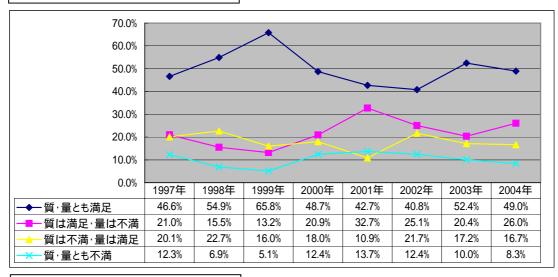


採用満足度の年次推移

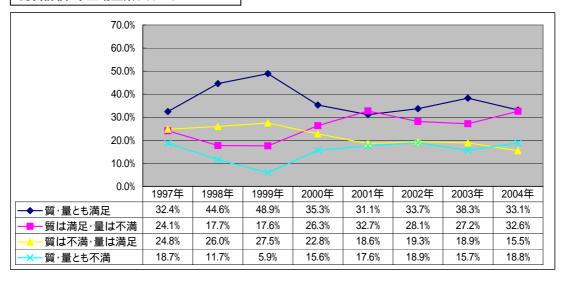
総合評価:全体



総合評価:上場・店頭公開企業グループ



総合評価:未上場企業グループ



学生の能力についての印象

高いと感じた能力は文系で「コミュニケーション能力」、理系で「基礎学力」が今年もトップ

今年の学生の印象を聞いたところ、高いと思う能力では文系:「コミュニケーション能力」、理系:「基礎学力」、低いと思う能力では文系:「自主的思考力」、理系「コミュニケーション能力」と、いずれもここ数年同様の結果になった。(表1・表2)また、文理とも「情報収集力」については高い評価が多いものの、「情報応用力」の評価が低いのも同様の傾向を示している。採用面接にあたり、「自己PR」「志望動機」「入社意欲」を重視する企業は多い。学校の就職指導も低学年次から自己分析に取組んでる大学が増えているにも関わらず、集めた情報を分析し様々な情報と重ね合わせて相手に伝える、という総合的な能力に不足を感じている企業が増えているようだ。

理系学生においても自由応募の割合が高くなっているからか、コミュニケーション能力の低さを指摘する声が非常に高い。 これに併せてプレゼンテーション能力・自主的行動力の低さも採用担当者から多く挙げられている。 理系の学生に求めれれる資質が、これまで高く評価されてきた専門的知識の保有以外にプラスアルファの能力を求められてきていることが伺える。

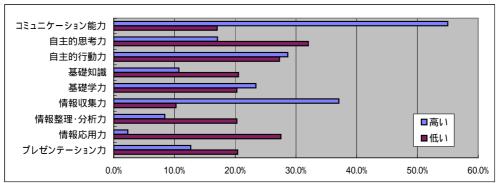
【文系学生の印象(全体)】	高いと思	思う能力	低いと思	思う能力
(複数回答)		昨年		昨年
コミュニケーション能力	55.0%	53.8%	17.0%	17.6%
自主的思考力	17.1%	13.3%	32.0%	33.0%
自主的行動力	28.7%	31.0%	27.3%	28.2%
基礎知識	10.7%	13.5%	20.5%	25.0%
基礎学力	23.4%	23.9%	20.3%	22.9%
情報収集力	37.1%	39.2%	10.3%	7.8%
情報整理·分析力	8.4%	6.4%	20.3%	20.7%
情報応用力	2.3%	2.7%	27.5%	23.2%
プレゼンテーション力	12.7%	11.9%	20.4%	18.4%

【表1】

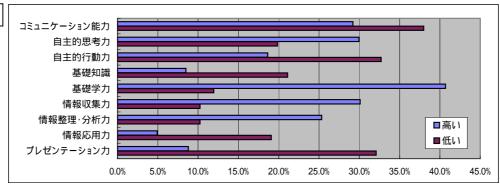
【理系学生の印象(全体)】	高いと思	思う能力	低いと見	思う能力
(複数回答)		昨年		昨年
コミュニケーション能力	29.2%	22.6%	38.0%	42.4%
自主的思考力	30.0%	27.8%	19.8%	20.7%
自主的行動力	18.6%	18.0%	32.7%	32.8%
基礎知識	8.5%	12.2%	21.1%	22.1%
基礎学力	40.7%	49.4%	11.9%	15.2%
情報収集力	30.1%	27.9%	10.2%	9.8%
情報整理·分析力	25.3%	22.2%	10.2%	9.1%
情報応用力	4.9%	4.0%	19.1%	15.7%
プレゼンテーション力	8.8%	10.6%	32.1%	28.6%

【表2】

文系



理系



採用基準

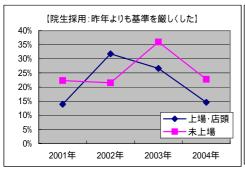
【院生】			上場·店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
昨年より基準を厳しくした	18.9%	31.0%	14.6%	26.6%	22.8%	36.0%	17.3%	24.0%	20.8%	37.9%
昨年並み	78.4%	67.6%	84.2%	72.3%	73.3%	62.1%	79.9%	74.3%	76.7%	60.9%
昨年より基準を緩くした	2.7%	1.4%	1.3%	1.1%	3.9%	1.9%	2.8%	1.7%	2.5%	1.2%

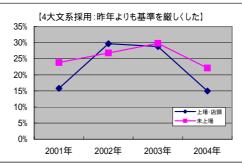
表1】

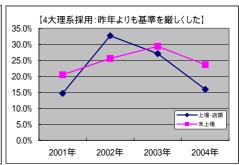
【4大文系】	全	全体		上場·店頭公開		未上場		造業	非製造業]
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年]
昨年より基準を厳しくした	19.5%	29.4%	15.0%	28.8%	22.1%	29.8%	21.6%	24.7%	18.2%	31.9%]
昨年並み	75.9%	67.9%	82.6%	69.5%	71.8%	66.7%	75.5%	72.7%	76.1%	65.2%]
昨年より基準を緩くした	4.7%	2.8%	2.4%	1.7%	6.0%	3.5%	2.9%	2.6%	5.8%	2.9%	【表

Ó	
	【表2】

【4大理系】	全体		上場·店 <u>頭公開</u>		未上場		製造業		非製造業		
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年]
昨年より基準を厳しくした	20.7%	28.3%	15.9%	27.1%	23.6%	29.4%	19.8%	23.4%	21.4%	32.5%	
昨年並み	74.1%	69.1%	80.2%	70.6%	70.2%	67.9%	74.3%	73.8%	73.8%	65.1%	
昨年より基準を緩くした	5.3%	2.6%	3.9%	2.3%	6.2%	2.8%	5.9%	2.8%	4.8%	2.4%	【表3】







参考:採用の「量」と「質」に対する方針

(全体)	(徹底して	筫を里倪	() 低して	重を里倪	重よりは	筫を里倪	質よりは	重を里倪	特正の人-	+ルを里倪	特定の字体	父を里倪	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年	
大学院生	32.4%	58.9%	0.0%	1.1%	52.8%	34.4%	11.3%	5.6%	2.8%	0.0%	0.7%	0.0%]
4大文系	29.0%	46.4%	1.2%	1.6%	57.5%	40.6%	9.3%	9.4%	2.3%	2.1%	0.8%	0.0%	
4大理系	28.1%	51.2%	2.2%	1.2%	54.0%	37.2%	11.4%	8.5%	3.5%	1.8%	0.9%	0.0%	【表4】
•													_

【上場·店頭】 徹底して質を重視 徹底して量を重視 量よりは質を重視 質よりは量を重視 特定のスキルを重視 特定の学校を重視 昨年 昨年 昨年 昨年 昨年 昨年 大学院生 51.1% 61.1% 0.0% 0.0% 35.6% 36.1% 8.9% 2.8% 2.2% 0.0% 2.2% 0.0% 4大文系 41.4% 59.4% 0.0% 1.6% 48.6% 28.1% 5.7% 9.4% 4.3% 1.6% 0.0% 0.0% 4大理系 41.7% 60.0% 1.7% 0.0% 41.7% 29.2% 10.0% 7.7% 3.3% 3.1% 1.7% 0.0% 【表5】

【未上場】	徹底して					量よりは	量よりは質を重視		質よりは量を重視		特定のスキルを重視		特定の学校を重視	
_		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年		
大学院生	23.7%	57.4%	0.0%	1.9%	60.8%	33.3%	12.4%	7.4%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%		
4大文系	24.3%	39.8%	1.6%	1.6%	60.9%	46.9%	10.6%	9.4%	1.6%	2.3%	1.1%	0.0%		
4大理系	23.2%	45.5%	2.4%	2.0%	58.3%	42.4%	11.9%	9.1%	3.6%	1.0%	0.6%	0.0%		

【製造業】	徹底して	質を重視	徹底して	量を重視	量よりは	質を重視	質よりは	量を重視	特定のスキ	キルを重視	特定の学権	交を重視	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年]
大学院生	44.7%	62.1%	0.0%	0.0%	36.2%	37.9%	8.5%	0.0%	8.5%	0.0%	2.1%	0.0%]
4大文系	35.1%	46.8%	0.0%	2.1%	52.6%	42.6%	5.3%	4.3%	7.0%	4.3%	0.0%	0.0%]
4大理系	32.8%	52.8%	1.6%	0.0%	45.3%	43.4%	10.9%	0.0%	7.8%	3.8%	1.6%	0.0%	【表7】

【非製造業】	徹底して	質を重視	徹底して	量を重視	量よりは	質を重視	質よりは	量を重視	特定のスキ	キルを重視	特定の学権	交を重視	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年	
大学院生	26.3%	57.4%	0.0%	1.6%	61.1%	32.8%	12.6%	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
4大文系	27.2%	46.2%	1.5%	1.4%	58.9%	40.0%	10.4%	11.0%	1.0%	1.4%	1.0%	0.0%	
4大理系	26.2%	50.5%	2.4%	1.8%	57.3%	34.2%	11.6%	12.6%	1.8%	0.9%	0.6%	0.0%	【表8】

7P

昨年と比較しての採用活動の厳しさ

満足度の減少と呼応し、採用活動は「厳しい」が86%超

採用充足率は上昇している一方で満足度が減少している事を受け、「昨年よりも、または昨年並みに採用活動が厳しかった」との声が全体の86.8%(昨年比5.2%増)にのぼった。

特に「未上場」グループでは、85.3%の企業が「厳しかった」との回答となり、6.7%上昇。「上場・店頭」グループも増加率は3.6%と高くはないものの89.9%の企業が厳しさを感じている。(表1~3)

厳しかった理由としては「学生の質の低下」「辞退の増加」(次ページ参照)が挙げられており、厳選採用の中、一定レベルを保った人材の確保に各社がしのぎを削る様子が伺える結果となった。

【全体】	昨年より	厳しかった	昨年並みに	上厳しかった	昨年並み	に楽だった	昨年より	楽だった
		昨年		昨年		昨年		昨年
総合評価	42.2%	27.4%	44.6%	54.2%	5.1%	5.8%	8.1%	12.7%
大学院生	31.4%	21.5%	51.0%	58.2%	8.8%	10.0%	8.8%	10.3%
4大文系	40.1%	24.7%	44.4%	53.4%	7.3%	8.5%	8.1%	13.6%
4大理系	40.7%	28.3%	44.8%	52.9%	7.5%	7.5%	7.1%	11.4%

【表1】

【上場·店頭】	昨年より記	厳しかった	昨年並みに	厳しかった	昨年並み	に楽だった	昨年より	楽だった
		昨年		昨年		昨年		昨年
総合評価	37.9%	25.4%	52.0%	60.9%	5.1%	4.0%	5.1%	9.8%
大学院生	25.2%	21.2%	58.3%	59.3%	9.2%	9.5%	7.4%	10.1%
4大文系	35.5%	23.9%	53.2%	58.0%	6.8%	7.4%	4.6%	10.7%
4大理系	35.6%	27.3%	51.0%	52.3%	8.3%	8.6%	5.2%	11.8%

【表2】

【未上場】	昨年より	厳しかった	昨年並みに	厳しかった	昨年並み	こ楽だった	昨年より	楽だった
		昨年		昨年		昨年		昨年
総合評価	44.4%	28.7%	40.9%	49.9%	5.1%	6.9%	9.6%	14.5%
大学院生	37.1%	21.9%	44.4%	56.9%	8.4%	10.6%	10.1%	10.6%
4大文系	42.8%	25.2%	39.4%	49.9%	7.6%	9.2%	10.2%	15.7%
4大理系	43.8%	29.0%	41.0%	53.3%	7.0%	6.6%	8.3%	11.0%

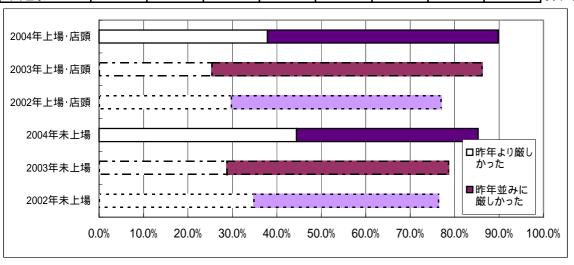
【表3】

【製造業】	昨年より記	厳しかった	昨年並みに	厳しかった	昨年並み	こ楽だった	昨年より	楽だった
_		昨年		昨年		昨年		昨年
総合評価	39.5%	27.1%	46.5%	57.5%	5.5%	6.1%	8.6%	9.3%
大学院生	31.3%	21.8%	50.3%	58.1%	10.6%	9.8%	7.8%	10.3%
4大文系	38.0%	25.5%	47.7%	56.4%	7.9%	8.3%	6.5%	9.8%
4大理系	38.6%	30.0%	46.6%	51.1%	8.9%	9.0%	5.9%	9.9%

【表4】

【非製造業】	昨年より	厳しかった	昨年並みに	厳しかった	昨年並み	こ楽だった	昨年より	楽だった
		昨年		昨年		昨年		昨年
総合評価	43.6%	27.6%	43.6%	52.4%	4.9%	5.6%	7.8%	14.4%
大学院生	31.5%	21.1%	51.9%	58.3%	6.8%	10.3%	9.9%	10.3%
4大文系	41.3%	24.2%	42.6%	51.7%	7.0%	8.5%	9.0%	15.7%
4大理系	42.5%	26.8%	43.2%	54.3%	6.2%	6.3%	8.1%	12.6%

【表5】



採用活動が厳しいと感じた理由

厳しかった理由は「学生の質の低下」が今年もトップ

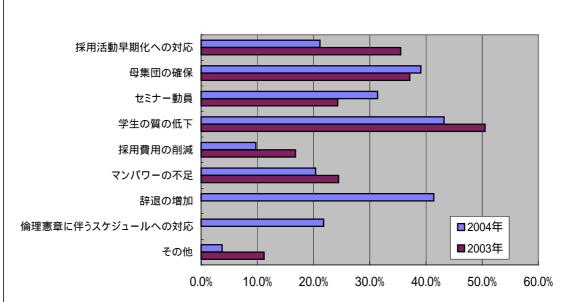
前ページで「昨年よりも、または昨年並みに採用活動が厳しかった」と回答のあった企業に「厳しかった理由」を聞いたところ、全体では昨年に引き続き「学生の質の低下」がトップとなった。(表1)

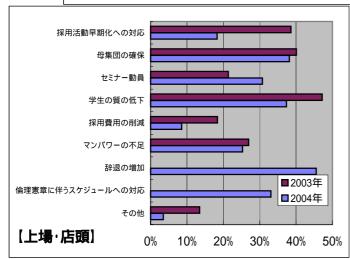
「上場・店頭」グループでは今年追加された「辞退の増加」がトップ。次いで「母集団の確保」が高い数字となっている。 「未上場」グループでは、「母集団の確保」「セミナー動員」が昨年よりもポイントを集めており、「学生の質の低下」「辞退の増加」と併せてかなり厳しい採用戦線であった事が伺える。

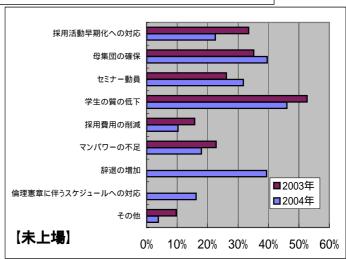
弊社調査では学生一人当りの年間エントリー数は減少傾向にある。一部の大手企業や有名企業にエントリーが集中する傾向も顕著になる中、企業側の採用意欲回復に伴い「採用したい学生」を十分に集めていくのは難しい状況になっているようだ。さらに「上場・店頭」グループでは、「倫理憲章に伴うスケジュールへの対応」にもポイントが集まっており、急なスケジュールの変化や予想できない学生の動きに翻弄された状況を示している。

_	【前ページ	ページの設問で「昨年よりも厳しかった」「昨年並みに厳しかった」を選択した企業のみ回答】									
	全	:体	上場	·店頭	未上場		製造業		非製	造業	
(複数回答)		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年	
採用活動早期化への対応	21.2%	35.5%	18.3%	38.6%	22.6%	33.5%	21.4%	39.4%	21.1%	33.2%	
母集団の確保	39.1%	37.1%	38.1%	40.1%	39.6%	35.2%	42.0%	38.3%	37.6%	36.5%	
セミナー動員	31.4%	24.3%	30.7%	21.4%	31.7%	26.2%	31.5%	21.9%	31.4%	25.7%	
学生の質の低下	43.2%	50.5%	37.4%	47.2%	46.1%	52.7%	44.6%	45.4%	42.5%	53.5%	
採用費用の削減	9.7%	16.8%	8.6%	18.4%	10.3%	15.8%	7.9%	17.5%	10.7%	16.4%	
マンパワーの不足	20.4%	24.5%	25.3%	27.0%	18.0%	22.8%	24.7%	27.9%	18.1%	22.4%	
辞退の増加	41.4%		45.5%		39.4%		40.5%		41.9%		
倫理憲章に伴うスケジュールへの対応	21.8%		33.1%		16.3%		26.6%		19.3%		
その他	3.7%	11.2%	3.5%	13.5%	3.8%	9.7%	3.8%	13.9%	3.7%	9.6%	

【全体】



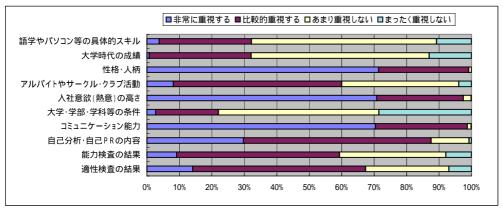




【表1】

大卒者に内定を出す際に重視する項目

【 全体 】 (MA)	非常に重視する	比較的重視する	あまり重視しない	まった〈重視しない
適性検査の結果	14.1%	53.3%	25.7%	7.0%
能力検査の結果	9.2%	50.2%	32.7%	7.9%
自己分析·自己PRの内容	29.7%	57.8%	11.7%	0.8%
コミュニケーション能力	70.4%	28.3%	1.2%	0.1%
大学・学部・学科等の条件	2.7%	19.3%	49.5%	28.5%
入社意欲(熱意)の高さ	70.8%	26.7%	2.4%	0.1%
アルバイトやサークル・クラブ活動	8.1%	51.9%	36.1%	3.9%
性格·人柄	71.4%	27.8%	0.9%	0.0%
大学時代の成績	0.8%	31.4%	54.9%	13.0%
語学やパソコン等の具体的スキル	3.8%	28.5%	57.0%	10.7%



【上場·店頭 】 (MA)	非常に重視する	比較的重視する	あまり重視しない	まった〈重視しない
適性検査の結果	10.7%	58.8%	24.3%	6.3%
能力検査の結果	7.2%	53.8%	31.4%	7.6%
自己分析·自己PRの内容	35.6%	53.6%	10.0%	0.7%
コミュニケーション能力	79.3%	20.1%	0.7%	0.0%
大学・学部・学科等の条件	2.1%	25.8%	49.8%	22.3%
入社意欲(熱意)の高さ	70.7%	28.3%	1.0%	0.0%
アルバイトやサークル・クラブ活動	10.4%	54.2%	33.3%	2.1%
性格·人柄	75.6%	23.4%	1.0%	0.0%
大学時代の成績	1.4%	33.9%	52.3%	12.5%
語学やパソコン等の具体的スキル	2.8%	32.8%	56.2%	8.3%

【未上場 】 (MA)	非常に重視する	比較的重視する	あまり重視しない	まった〈重視しない
適性検査の結果	15.7%	50.8%	26.3%	7.3%
能力検査の結果	10.1%	48.6%	33.3%	8.0%
自己分析·自己PRの内容	27.0%	59.8%	12.4%	0.8%
コミュニケーション能力	66.4%	32.1%	1.4%	0.2%
大学・学部・学科等の条件	3.0%	16.4%	49.3%	31.3%
入社意欲(熱意)の高さ	70.9%	25.9%	3.1%	0.2%
アルバイトやサークル・クラブ活動	7.1%	50.9%	37.3%	4.7%
性格·人柄	69.4%	29.8%	0.8%	0.0%
大学時代の成績	0.5%	30.2%	56.0%	13.3%
語学やパソコン等の具体的スキル	4.2%	26.5%	57.4%	11.9%

【 製造業 】 (MA)	非常に重視する	比較的重視する	あまり重視しない	まった〈重視しない
適性検査の結果	10.9%	53.1%	29.0%	6.9%
能力検査の結果	10.3%	50.0%	32.3%	7.5%
自己分析·自己PRの内容	32.5%	53.1%	13.8%	0.6%
コミュニケーション能力	66.9%	31.9%	1.3%	0.0%
大学・学部・学科等の条件	5.1%	35.8%	47.2%	12.0%
入社意欲(熱意)の高さ	69.1%	28.4%	2.5%	0.0%
アルバイトやサークル・クラブ活動	6.4%	49.4%	39.2%	5.1%
性格·人柄	73.6%	25.5%	0.9%	0.0%
大学時代の成績	1.3%	42.2%	47.9%	8.6%
語学やパソコン等の具体的スキル	4.8%	35.4%	52.9%	7.0%

【 非製造業 】 (MA)	非常に重視する	比較的重視する	あまり重視しない	まった〈重視しない
適性検査の結果	15.8%	53.3%	23.9%	7.0%
能力検査の結果	8.6%	50.3%	33.0%	8.1%
自己分析·自己PRの内容	28.3%	60.3%	10.5%	0.8%
コミュニケーション能力	72.2%	26.5%	1.1%	0.2%
大学・学部・学科等の条件	1.5%	10.8%	50.7%	37.1%
入社意欲(熱意)の高さ	71.7%	25.8%	2.4%	0.2%
アルバイトやサークル・クラブ活動	9.0%	53.2%	34.5%	3.3%
性格·人柄	70.2%	29.0%	0.8%	0.0%
大学時代の成績	0.5%	25.8%	58.4%	15.3%
語学やパソコン等の具体的スキル	3.3%	24.9%	59.2%	12.7%

採用活動進捗状況と今後の活動予定

進捗状況は「採用継続」を選択した企業が増加

7月末時点で「採用終了・ほぼ終了」との回答は、院生採用:70.6%、4大文系採用:63.2%、4大理系採用:64.3%。 全カテゴリーで昨年比6%程度減少するも、6~7割の企業は「採用終了・ほぼ終了」という数字となった。(表1~3) また、「採用継続」と回答のあった企業に「今後いつまで継続する予定か」を聞いたところ、全体では院生・4大文理の各カテゴリー において、「10 - 11月末まで」「年内一杯」のポイントが高くなっており、長期戦を覚悟している企業も多いようだ。

「未上場」グループでは、「採用終了・ほぼ終了」と回答した企業は、4大文理のカテゴリーで60%以下の数字になっており、昨年同様採用スパンを長めに取る企業が増えているようだ。採用戦線が早期化する現在、優秀な学生であれば時期に関係なく採用していく、という企業側の姿勢もうかがえる。

「新卒採用で予定数が充足しなかった場合、どのように対応しますか?」という問いに対しては「中途などの即戦力で補充」が院生・ 4大文理の各カテゴリーで最も高い回答となった。一方「次年度の新卒募集を増やして対応」と回答した企業の増加率が最も高く、 今年充足できなかった分を次年度に積み残す状況になってきている。

【院生:回答595社】	全	全 <u>体</u>		上場·店頭公開		未上場		造業	非製造業	
_		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
採用終了・ほぼ終了	70.6%	78.4%	78.3%	85.1%	65.4%	72.5%	76.2%	85.4%	66.7%	73.6%
採用継続	27.4%	18.7%	20.4%	14.6%	32.1%	22.3%	20.9%	12.8%	31.9%	22.7%
充足していないが採用中止	2.0%	2.9%	1.3%	0.4%	2.5%	5.2%	2.9%	1.8%	1.4%	3.7%
										【表1】

【4大文系:回答865社】 未上場 製造業 非製造業 全体 上場·店頭公開 昨年 昨年 昨年 昨年 昨年 採用終了・ほぼ終了 63.2% 69.4% 72.7% 77.5% 58.6% 64.2% 72.0% 76.5% 59.3% 66.0% 採用継続 34.0% 25.9% 21.2% 38.0% 31.0% 23.3% 38.9% 30.8% 27.2% 19.6% 充足していないが採用中止 2.8% 3.4% 1.4% 3.5% 4.8% 1.9% 1.3% 4.8% 3.9% 3.2% 【表2】

【4大理系:回答781社】	全	全 <u>体</u>		上場·店頭公開		未上場		造業	非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
採用終了・ほぼ終了	64.3%	70.6%	74.8%	75.6%	58.7%	67.5%	72.8%	75.6%	59.0%	67.5%
採用継続	32.9%	26.2%	24.1%	20.7%	37.6%	29.6%	23.8%	20.7%	38.5%	29.6%
充足していないが採用中止	2.8%	3.2%	1.1%	3.6%	3.7%	3.0%	3.4%	3.6%	2.5%	3.0%
										【表3】

今後、採用活動をいつまで継続しますか? 【上の設問で「採用継続」を選択した企業のみ回答】

【院生:回答163社】	全	全体		上場·店頭公開		未上場		製造業		造業
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
8 - 9月末まで	34.5%	45.6%	31.1%	55.6%	36.2%	38.9%	45.7%	58.6%	29.0%	39.3%
10-11月末まで	28.8%	18.9%	40.0%	16.7%	23.4%	20.4%	23.9%	10.3%	31.2%	23.0%
年内一杯	23.7%	22.2%	15.6%	22.2%	27.7%	22.2%	21.7%	17.2%	24.7%	24.6%
1 - 3月末まで	13.0%	13.3%	13.3%	5.6%	12.8%	18.5%	8.7%	13.8%	15.1%	13.1%
		='		<u>-</u>	='	='		='	='	【表4】

【4大文系:回答294社】	全体		上場·店	上場·店頭公開		未上場		造業	非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
8 - 9月末まで	43.4%	52.3%	41.8%	65.6%	43.9%	45.7%	61.4%	70.2%	38.2%	46.6%
10-11月末まで	28.5%	19.7%	37.3%	14.1%	25.4%	22.5%	28.1%	8.5%	28.6%	23.3%
年内一杯	19.1%	18.7%	11.9%	10.9%	21.7%	22.5%	5.3%	14.9%	23.1%	19.9%
1 - 3月末まで	9.0%	9.3%	9.0%	9.4%	9.0%	9.3%	5.3%	6.4%	10.1%	10.3%
										【表5】

【4大理系:回答257社】	全	体	上場·店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
8 - 9月末まで	38.8%	48.5%	39.0%	53.9%	38.8%	45.1%	50.8%	61.1%	34.2%	42.5%
10-11月末まで	24.6%	18.6%	28.8%	18.5%	23.0%	18.6%	15.9%	14.8%	28.0%	20.4%
年内一杯	23.7%	18.6%	18.6%	16.9%	25.5%	19.6%	20.6%	14.8%	24.8%	20.4%
1 - 3月末まで	13.0%	14.4%	13.6%	10.8%	12.7%	16.7%	12.7%	9.3%	13.0%	16.8%

11P [表6]

新卒採用で予定数が充足しなかった場合、どのように対応しますか? 【前ページの設問(採用進捗状況)で「採用継続中」を選択した企業のみ回答】

【院生:回答152社】	全			上場·店頭公開		未上場		造業	非製	造業
(複数回答)		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
中途などの即戦力で補充	44.5%	47.8%	53.5%	42.9%	40.4%	50.9%	42.2%	51.7%	45.7%	45.9%
新卒派遣で補充	1.5%	1.1%	2.3%	2.9%	1.1%	0.0%	2.2%	0.0%	1.1%	1.6%
派遣社員で補充	2.9%	3.3%	2.3%	2.9%	3.2%	3.6%	2.2%	6.9%	3.3%	1.6%
中途・派遣での補充は特に考えない	41.6%	45.6%	34.9%	48.6%	44.7%	43.6%	40.0%	37.9%	42.4%	49.2%
次年度の新卒募集を増やして対応	17.5%	8.9%	16.3%	5.7%	18.1%	10.9%	20.0%	10.3%	16.3%	8.2%
										【表1】

【4大文系:回答274社】	全体		上場·店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
(複数回答)		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
中途などの即戦力で補充	44.4%	42.2%	48.5%	47.6%	43.0%	39.5%	26.8%	34.0%	49.3%	44.8%
新卒派遣で補充	1.5%	3.7%	0.0%	7.9%	2.1%	1.6%	0.0%	4.3%	2.0%	3.5%
派遣社員で補充	2.7%	2.1%	1.5%	0.0%	3.1%	3.1%	1.8%	2.1%	2.9%	2.1%
中途・派遣での補充は特に考えない	38.3%	43.8%	36.8%	38.1%	38.9%	46.5%	44.6%	46.8%	36.6%	42.8%
次年度の新卒募集を増やして対応	23.0%	15.1%	22.1%	12.7%	23.3%	16.3%	37.5%	19.2%	19.0%	13.8%
				•	•		•	•		【表2】

【4大理系:回答236社】	全体		上場·店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
(複数回答)		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
中途などの即戦力で補充	44.7%	46.0%	46.6%	51.6%	44.1%	42.4%	35.9%	42.3%	48.2%	47.8%
新卒派遣で補充	2.2%	2.5%	5.2%	4.7%	1.2%	1.0%	3.1%	0.0%	1.9%	3.6%
派遣社員で補充	2.7%	3.7%	3.5%	1.6%	2.4%	5.1%	3.1%	7.7%	2.5%	1.8%
中途・派遣での補充は特に考えない	38.9%	40.5%	39.7%	35.9%	38.7%	43.4%	40.6%	40.4%	38.3%	40.5%
次年度の新卒募集を増やして対応	20.8%	16.6%	19.0%	10.9%	21.4%	20.2%	29.7%	19.2%	17.3%	15.3%

【表3】

内定辞退の前年比増減

内定辞退が昨年より増加した企業が13.4%増

2000年以降、緩やかに内定辞退が減少する傾向が続いたが、今年大きく「内定辞退が増加」する企業が増えており、昨年に比べて「大幅に増加した」+「やや増加した」と回答した企業は全体の34.7%(昨年比13.4%増)と大きく数字が増加した。 (表1)

「全体的な雇用意欲回復」「学生のエントリー社数の減少」「倫理憲章などのスジュールの変化」など様々な要因が重なり、例年以上に厳しい就職戦線を強いられているようだ。

	全体	上場·店頭公開	未上場	製造業	非製造業
昨年より大幅に減	6.9%	5.1%	7.8%	7.7%	6.6%
昨年よりやや減	13.5%	16.6%	12.0%	12.9%	13.8%
変わらない	44.9%	42.6%	46.0%	44.7%	45.0%
昨年よりやや増	25.3%	24.7%	25.6%	25.1%	25.4%
昨年より大幅に増	9.4%	11.2%	8.6%	9.7%	9.3%

【表1】

【全体】	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年
昨年より大幅に減	16.0%	8.1%	6.8%	9.5%	9.8%	6.9%
昨年よりやや減	27.1%	16.5%	17.5%	19.7%	20.9%	13.5%
変わらない	42.0%	50.3%	48.4%	50.2%	48.1%	44.9%
昨年よりやや増	12.4%	20.8%	22.6%	16.0%	18.1%	25.3%
昨年より大幅に増	2.6%	4.3%	4.7%	4.5%	3.2%	9.4%

【表2】

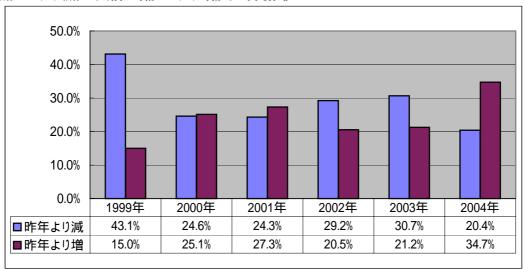
【上場】	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年
昨年より大幅に減	11.9%	8.5%	5.4%	8.7%	9.7%	5.1%
昨年よりやや減	26.9%	18.4%	20.6%	19.9%	21.6%	16.6%
変わらない	46.5%	48.4%	49.5%	46.0%	44.5%	42.6%
昨年よりやや増	13.1%	20.1%	20.9%	18.8%	21.0%	24.7%
昨年より大幅に増	1.6%	4.5%	3.6%	6.6%	3.2%	11.2%

【表3】

【未上場】	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年
昨年より大幅に減	17.9%	7.9%	7.7%	10.0%	9.8%	7.8%
昨年よりやや減	27.1%	15.4%	15.4%	19.6%	20.4%	12.0%
変わらない	39.9%	51.3%	47.6%	52.5%	50.3%	46.0%
昨年よりやや増	12.0%	21.2%	23.8%	14.5%	16.3%	25.6%
昨年より大幅に増	3.1%	4.2%	5.4%	3.4%	3.1%	8.6%

【表4】

「大幅に減少+やや減少:大幅に増加+やや増加」5年間推移



【グラフ1】

企業の倫理憲章(共同宣言)の影響

「上場・店頭公開」グループで37%が「採用しずらくなった」と回答

日本経済団体連合会が今期から、より実効性をもたせるため「倫理憲章の趣旨実現を目指す共同宣言」への賛同を経団連より経 営者宛てに求め、賛同書を提出した企業を日本経団連発行の経営タイムスで公開するという方式に踏み切った。 「採用選考活動早期開始の自粛」として、「卒業学年に達しない学生に対して、面接など実質的な選考活動を行うことは厳に慎む」

という一文は、企業の採用スケジュールに大きな影響を与えることが予想され、今期の採用戦線を迎えた。

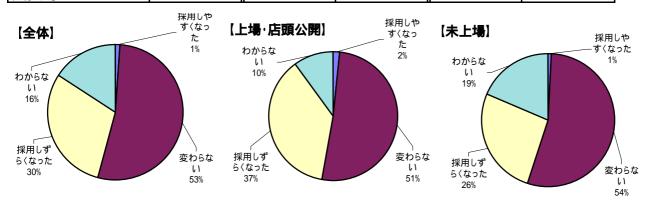
「倫理憲章による採用難易度の変化」に関しては過半数の企業が変わらないと回答しつつも、「上場・店頭」グループにおいて 37.3%の企業は「採用しずらくなった」と回答しており、「未上場」グループの26.5%を大きく上回る結果となった。「受験率への影 響」においても「上場・店頭」グループの25.9%が「下がった」と回答しており、その影響の強さをうかがわせている。 大手企業を中心に4月以降に集中した選考スケジュールが、結果として「採用しずらくなった」と回答したようだ。

次年度に関しては、まだまだ「未定」とする企業が多いものの全体で43%の企業が今年度並という回答を出している。

企業の倫理憲章(共同宣言)の影響

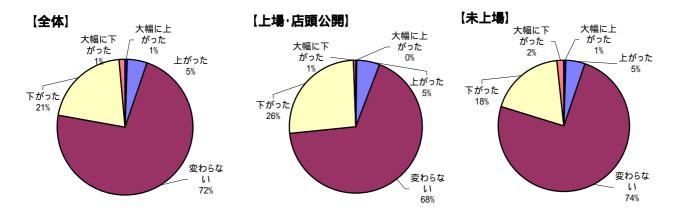
倫理憲章によって採用の難易度は変わりましたか?

	全体	上場·店頭公開	未上場	製造業	非製造業
採用しやすくなった	1.2%	1.7%	0.9%	1.9%	0.8%
変わらない	53.1%	51.0%	54.0%	51.5%	53.8%
採用しずらくなった	29.8%	37.3%	26.5%	29.6%	29.9%
わからない	16.0%	10.1%	18.7%	17.0%	15.5%



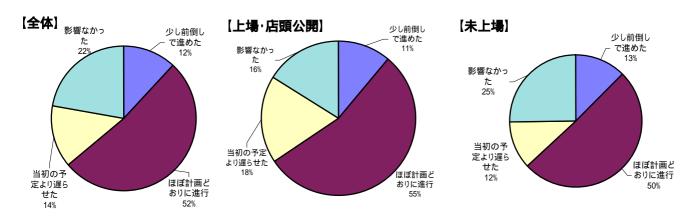
倫理憲章によって貴社の受験率に変化がありましたか?

	全体	上場·店頭公開	未上場	製造業	非製造業
大幅に上がった	0.5%	0.3%	0.6%	0.6%	0.5%
上がった	4.8%	5.4%	4.6%	5.7%	4.4%
変わらない	72.4%	67.7%	74.7%	71.1%	73.1%
下がった	20.9%	25.9%	18.6%	21.6%	20.5%
大幅に下がった	1.3%	0.7%	1.6%	1.0%	1.5%



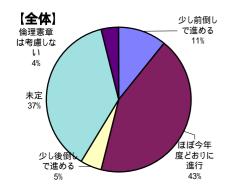
倫理憲章によって従来の採用スケジュールに影響がありましたか?

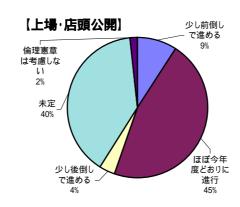
	全体	上場·店頭公開	未上場	製造業	非製造業
少し前倒しで進めた	12.1%	11.0%	12.6%	12.1%	12.1%
ほぼ計画どおりに進行	51.8%	54.7%	50.5%	52.2%	51.6%
当初の予定より遅らせた	13.8%	18.3%	11.7%	15.2%	13.0%
影響なかった	22.4%	16.0%	25.3%	20.5%	23.3%

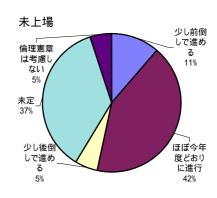


次年度は倫理憲章によって採用スケジュールを見直しますか?

	全体	上場·店頭公開	未上場	製造業	非製造業
少し前倒しで進める	10.7%	9.3%	11.4%	10.2%	11.0%
ほぼ今年度どおりに進行	43.2%	45.9%	42.0%	43.1%	43.3%
少し後倒しで進める	4.7%	3.7%	5.2%	5.9%	4.1%
未定	37.5%	39.5%	36.5%	36.9%	37.7%
倫理憲章は考慮しない	3.9%	1.7%	4.9%	4.0%	3.8%







採用費

広告費で「上場・店頭公開」グループ平均では6.4万円減、「未上場」グループでは84.9万円減

採用費用中の広告費では、「上場・店頭」グループでは前年比6.4万円減の645.4万円、「未上場」グループでは84.9万円減の313.5万円となり、「未上場」グループでの広告費用の圧縮が見られた。「製造業」グループにおいてわずかに前年度を上回っているものの全体的には減少傾向になっている。未上場の人事担当者にとっては非常に厳しい結果となっている。

全体的な採用数が増加傾向にあったにも関わらず、採用費は全体で720.8万円(昨年比199.6万円減)と減少に転じた。 グループ別に見ると、「上場・店頭」グループでは1213.4万円(前年比217.5万円減)と大きく減少、さらに「未上場」グループでは558.7万円 (昨年比116.8万円減)との結果となった。採用活動におけるインターネットの導入で、「会社資料の返送」に変えて企業も「応募者限定Web コンテンツ作成」などで資料発送コストを抑えたり、「Webテスト」の導入で、会場費用の節約など広告費用以外の採用経費を中心にスリム化 が進んでいるようだ。

採用費・・・広告費の他、入社案内やホームページ・ダイレクトメールなどのツール作成費、DM発送費、セミナー運営費 アウトソーシング費(データ処理・電話オペレーターなど)、資料発送費など、「採用経費」に含まれる費用総額

広告費・・・就職情報誌や就職情報サイト・新聞など、一般に公開される採用情報を掲載・出稿するための費用総額

【採用広告費平均総額】

(単位・万円)

<採用費中の広	告費平均	総額の推	移>		(単位・万円)				
	'99	'00	'01	'02	'02 '03				
全体	456.0	724.6	551.0	489.9	487.4	404.5			
上場·店頭公開	758.7	1161.1	807.3	754.8	651.8	645.4			
未上場	353.4	536.5	403.6	365.8	398.4	313.5			
製造業	421.1	585.3	546.3	533.1	457.3	457.5			
非製造業	476.1	804.6	553.9	468.2	502.3	378.0			

【表1】

<採用費平均総額の推移>

(単位・万円)

	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04
全体	1855.0	1242.2	869.5	915.2	873.3	908.6	978.6	843.9	1060.7	1008.2	890.4	920.4	720.8
上場·店頭公開	2868.0	2013.8	1467.3	1379.0	1513.3	1760.7	1901.8	1641.7	1589.2	1598.4	1690.0	1430.9	1213.4
未上場	1558.0	1023.7	703.4	634.7	597.0	682.2	700.0	601.1	834.3	701.9	567.7	675.5	558.7
製造業	-	1310.8	877.4	964.9	854.8	983.5	946.5	834.7	1054.3	995.7	1002.7	831.0	785.9
非製造業	-	1193.4	864.1	871.6	887.2	865.7	997.3	848.4	1064.5	1015.8	837.6	964.4	691.0
													/ 主 の

【表2】

【採用費平均総額】

(単位・万円)

									(-	+ 1
	全	体	上場·店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
採用費平均総額	720.8	920.4	1213.4	1430.9	558.7	675.5	785.9	831.0	691.0	964.4
採用費中の広告費総額	404.5	487.4	645.4	651.8	313.5	398.4	457.5	457.3	378.0	502.3

【表3】

参考:各接触段階での交通費支給

	全体	上場· 店頭公開	未上場	製造業	非製造業
採用に直結しないセミナー	0.2%	0.7%	0.0%	0.3%	0.2%
採用に直結するセミナー	2.6%	2.0%	2.9%	3.7%	2.1%
OB·OG訪問	0.9%	1.0%	0.9%	0.9%	1.0%
会社訪問·工場見学	4.4%	3.3%	4.9%	9.8%	1.6%
一次面接	16.5%	20.0%	14.9%	27.8%	10.6%
二次面接~最終面接より前	21.7%	30.0%	17.9%	32.7%	16.0%
最終面接	32.6%	40.7%	29.0%	45.3%	26.1%
内定後	38.1%	35.0%	39.5%	28.4%	43.0%
全〈支払わない	16.0%	10.0%	18.7%	7.3%	20.4%

【注】実費支給、一律支給、に関わらず、その段階で交通費を支給したかどうかを尋ねています。

【注】その段階までに掛かった費用を全て精算しているかどうかは不明です。

採用情報公開の時期とツール

採用情報公開の時期は就職サイトオープンに合わせ、10月からが最多

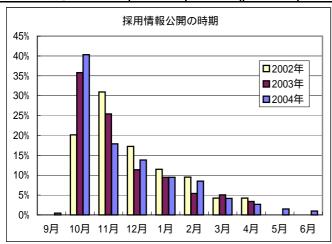
03年9月~12月の年内にかけて採用情報公開を開始した企業は全体の72.4%。 月別で見ると昨年同様「10月開始」の企業が大きく増加して各グループで最多となっている。(表1)

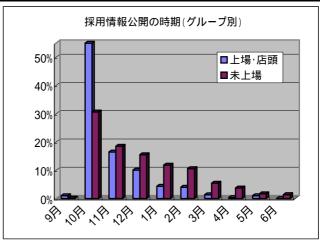
「上場・店頭」グループにおいても10月の公開は前年比10.5%増(50.8% 61.3%)の大幅な伸びとなった。早めの情報提供やオープンセミナーでコミュニケーションを重ね、早期から積極的に活動している学生をより多く自社に取り込もうとする大手企業の戦略が必然的に情報公開の時期を早めているようだ。

「最初に採用情報を公開したツール」では「就職情報サイト」の利用が今年も圧倒的に高くなった。(表2)まず就職情報サイトで基本的な情報を公開し、情報誌やDMなどで情報を付加していくという展開が定着してきたようだ。

最初に採用情報を公開した時期

	全	体	上場·店	頭公開	未_	上場	製造	造業	非集	製造業
		昨年								
9月	0.4%		1.0%		0.2%		0.6%		0.3%	
10月	40.3%	35.8%	61.3%	50.8%	30.6%	26.6%	41.5%	37.6%	39.7%	34.9%
11月	17.9%	25.4%	16.5%	24.8%	18.5%	25.8%	17.0%	25.2%	18.3%	25.5%
12月	13.8%	11.4%	10.1%	10.4%	15.6%	12.0%	15.7%	11.4%	12.9%	11.3%
1月	9.5%	9.5%	4.4%	5.5%	11.8%	12.0%	8.2%	7.7%	10.1%	10.4%
2月	8.5%	5.4%	4.0%	1.5%	10.6%	7.8%	6.0%	5.4%	9.8%	5.4%
3月	4.2%	5.0%	1.4%	3.4%	5.4%	6.1%	4.4%	5.0%	4.0%	5.0%
4月	2.7%	3.4%	0.3%	2.1%	3.7%	4.2%	2.8%	4.0%	2.6%	3.1%
5月	1.5%	2.1%	1.0%	0.6%	1.7%	3.0%	1.9%	2.7%	1.3%	1.8%
6月	1.0%	1.4%	0.0%	0.3%	1.4%	2.1%	1.3%	1.0%	0.8%	1.6%
7月	0.2%		0.0%		0.3%	·	0.6%	·	0.0%	
8月	0.1%		0.0%		0.2%		0.0%		0.2%	





【表1】

最初に採用情報を公開したツール

<複数回答> 【表2】

``										1124
	全	体	上場·店	頭公開	未么	公開	製造	造業	非集	製造業
		昨年								
就職情報誌(宅配)	5.3%	8.6%	6.7%	7.7%	4.6%	9.1%	4.1%	6.7%	5.9%	9.5%
就職情報誌(市販)	1.8%	2.6%	1.0%	3.1%	2.2%	2.3%	1.6%	1.3%	1.9%	3.2%
インターネット(自社ホームページ)	48.3%	53.0%	52.4%	58.3%	46.4%	49.8%	48.8%	52.4%	48.0%	53.4%
インターネット(就職サイト)	87.4%	81.4%	88.9%	83.6%	86.8%	80.0%	89.4%	83.6%	86.4%	80.2%
郵送のDM	2.4%	3.3%	0.7%	2.5%	3.2%	3.8%	2.2%	3.4%	2.6%	3.2%
求人票	8.7%	11.7%	4.7%	6.2%	10.5%	15.1%	7.8%	11.4%	9.1%	11.9%
インターンシップ	0.5%		0.3%		0.6%		0.3%		0.6%	
学内セミナー	7.3%		6.4%		7.7%		5.9%		8.0%	
就職イベント(合同説明会	8.7%		3.7%		10.9%		8.1%		8.9%	
その他	0.2%	2.1%	0.3%	0.3%	0.2%	3.2%	0.3%	1.0%	0.2%	2.7%

セミナー開始次期/最初に内々定を出した時期

情報公開に続く直接接触も早期化。しかし内々定出しのタイミングは4月がピークに。

採用情報公開を10月に前倒しした企業が多い(前ページ参照)なか、学生との直接接触であるセミナーの開始も早まっている。 早期段階で選考に関わりなく行われるオープンセミナーは「上場・店頭公開」グループで38.1%、「未上場」グループで19.8%が導入している。(22P参照)開始時期を見ると、年内スタートの企業が増加していることが明らかになっている。(表1)また採用に直結するセミナー(会社説明会)も完全に2月スタートが主流となっている。(表2)

1月からのスタートも確実に増えており、9月~2月の間にセミナーを開始する企業は「上場・店頭公開」グループで過半数を超えて59.7%、「未上場」グループでも今年初めて過半数に達した。

しかし倫理憲章の影響が情報公開~直接接触の早期化に対し、実際に内々定出しの時期はそれほど極端に早くなっておらず4月に集中したようだ。(表3)限られた時間の中で学生といかにスムーズにコミュニケーションをとって行けるかが来期の採用でもポイントになりそうだ。

採用に直結しないオープンセミナーを開始した時期(オープンセミナーを導入している企業比率については18P参照)

	全	体	上場·店	頭公開	未	上場	製造	造業	非集	製造業
		昨年								
2003年7月	0.4%		0.8%		0.0%		0.0%		0.6%	
2003年8月	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%	
2003年9月	0.4%		0.8%		0.0%		0.0%		0.6%	
2003年10月	4.0%	3.8%	6.6%	5.1%	1.9%	2.3%	5.3%	6.0%	3.3%	2.6%
2003年11月	11.2%	5.8%	10.7%	7.6%	11.5%	4.5%	12.6%	1.2%	10.4%	8.3%
2003年12月	23.7%	20.4%	32.0%	26.4%	17.3%	15.7%	19.0%	27.4%	26.2%	16.7%
2004年1月	9.4%	6.7%	9.0%	5.7%	9.6%	7.5%	9.5%	4.8%	9.3%	7.7%
2004年2月	30.9%	42.1%	27.9%	36.8%	33.3%	46.3%	31.6%	42.9%	30.6%	41.7%
2004年3月	13.7%	14.6%	10.7%	13.2%	16.0%	15.7%	13.7%	11.9%	13.7%	16.0%
2004年4月	5.0%	3.3%	0.8%	1.9%	8.3%	4.5%	7.4%	1.2%	3.8%	4.5%
2004年5月	0.7%	·	0.0%		1.3%		0.0%		1.1%	
2004年6月	0.7%		0.8%		0.6%		1.1%		0.6%	

昨年の10月の数字は「10月以前」の数字です

【表1】

採用に直結するセミナーを開始した時期

	全	:体	上場·店	頭公開	未_	上場	製造	造業	非製	製造業
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
2003年9月	0.1%		0.0%		0.2%		0.0%		0.2%	
2003年10月	0.1%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%
2003年11月	0.6%	0.7%	1.2%	0.4%	0.3%	0.8%	1.1%	0.7%	0.4%	0.6%
2003年12月	2.6%	2.4%	2.4%	2.8%	2.8%	2.1%	1.1%	2.2%	3.5%	2.5%
2004年1月	8.7%	6.9%	9.4%	6.4%	8.5%	7.1%	9.4%	6.0%	8.4%	7.4%
2004年2月	41.6%	41.8%	46.3%	45.4%	39.5%	39.6%	39.2%	39.8%	42.8%	42.9%
2004年3月	24.7%	26.5%	25.1%	27.7%	24.5%	25.8%	28.7%	27.9%	22.6%	25.7%
2004年4月	12.1%	11.3%	11.0%	10.3%	12.6%	12.0%	11.9%	11.2%	12.2%	11.4%
2004年5月	6.2%	6.7%	3.5%	5.0%	7.4%	7.8%	4.9%	7.8%	6.9%	6.1%
2004年6月	2.5%		0.8%		3.3%		3.5%		2.0%	
2004年7月	0.7%		0.0%		1.0%		0.4%		0.9%	

昨年の10月の数字は「10月以前」の数字

【表2】

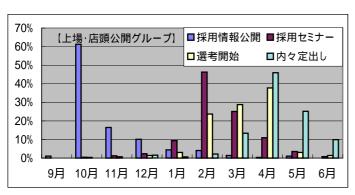
最初に選考を開始した時期

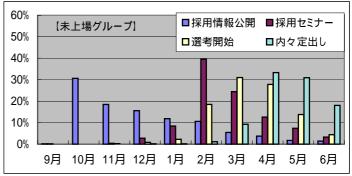
		上担 亡药八胆	+ L18	生心生光	11年11年14年
	全体	上場·店頭公開	未上場	製造業	非製造業
2003年10月	0.1%	0.3%	0.0%	0.0%	0.2%
2003年11月	0.3%	0.7%	0.2%	0.3%	0.3%
2003年12月	1.0%	1.3%	0.8%	1.5%	0.7%
2004年1月	2.4%	3.0%	2.2%	3.1%	2.1%
2004年2月	20.2%	23.8%	18.5%	16.1%	22.3%
2004年3月	30.3%	28.8%	31.0%	26.9%	32.0%
2004年4月	31.0%	37.8%	27.8%	37.7%	27.5%
2004年5月	10.4%	3.0%	13.8%	9.9%	10.7%
2004年6月	3.4%	1.3%	4.4%	3.7%	3.2%
2004年7月	1.0%	0%	1.4%	0.9%	1.0%

最初に内々定を出した時期

	全	体	上場·店	頭公開	未_	上場	製造	造業	非集	製造業
		昨年								
2003年12月	0.1%	0.8%	0.0%	1.6%	0.2%	0.4%	0.3%	1.4%	0.0%	0.6%
2004年1月	0.2%	0.4%	0.3%	0.6%	0.2%	0.2%	0.6%	0.7%	0.0%	0.2%
2004年2月	1.6%	2.0%	2.7%	2.2%	1.1%	1.9%	1.6%	3.0%	1.7%	1.5%
2004年3月	10.2%	11.2%	12.1%	13.4%	9.3%	9.8%	10.3%	10.1%	10.1%	11.7%
2004年4月	39.5%	36.4%	52.5%	46.0%	33.3%	30.5%	40.5%	36.8%	39.0%	36.2%
2004年5月	28.4%	30.3%	22.9%	25.2%	30.9%	33.4%	29.3%	27.0%	27.9%	32.0%
2004年6月	14.3%	14.0%	6.4%	9.9%	18.0%	16.5%	11.8%	14.9%	15.6%	13.5%
2004年7月	5.4%	5.0%	3.0%	1.2%	6.5%	7.3%	5.3%	6.1%	5.5%	4.4%
2004年8月	0.3%		0.0%		0.5%		0.3%		0.3%	

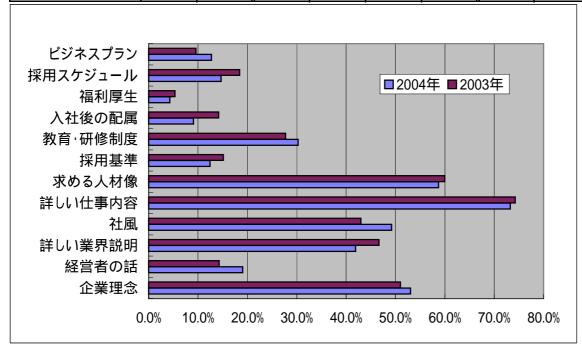
【表3】





参考:今年度セミナーの中で学生に訴求するする内容として力を入れたポイント[選択形式4つまで]

	合	計	上場·店頭	[公開企業	未公開	閉企業	製道	造業	非製造業	
_		昨年								
企業理念	53.1%	51.0%	53.2%	51.0%	53.0%	51.0%	53.2%	51.9%	53.0%	50.6%
経営者の話	19.0%	14.3%	11.3%	8.5%	22.6%	17.7%	14.6%	12.8%	21.3%	15.1%
詳しい業界説明	41.9%	46.6%	47.1%	47.8%	39.6%	46.0%	45.9%	42.4%	39.9%	48.9%
社風	49.2%	43.0%	48.8%	41.8%	49.4%	43.7%	53.5%	46.5%	47.0%	41.1%
詳しい仕事内容	73.3%	74.3%	77.8%	77.5%	71.2%	72.3%	76.3%	82.8%	71.7%	69.6%
求める人材像	58.7%	60.0%	61.8%	62.3%	57.3%	58.6%	58.9%	56.2%	58.6%	62.0%
採用基準	12.4%	15.1%	10.2%	14.6%	13.4%	15.4%	13.0%	14.8%	12.1%	15.3%
教育·研修制度	30.3%	27.7%	24.9%	23.7%	32.7%	30.1%	19.6%	17.2%	35.7%	33.5%
入社後の配属	9.1%	14.2%	9.2%	15.2%	9.0%	13.6%	10.1%	17.2%	8.6%	12.6%
福利厚生	4.3%	5.3%	3.4%	3.8%	4.7%	6.2%	3.5%	4.4%	4.7%	5.8%
採用スケジュール	14.7%	18.4%	16.4%	20.6%	13.9%	17.1%	17.7%	20.2%	13.1%	17.5%
ビジネスプラン	12.7%	9.6%	13.3%	11.4%	12.5%	8.5%	11.4%	8.4%	13.4%	10.2%



学生からのエントリー受付け経路

70%以上の企業がエントリー受付けはインターネットのみ。セミナー受付けでも60%を超える。

今ではインターネットは採用活動・就職活動に不可欠なツールとなっている。今期のエントリーをインターネットのみで受付けた企業は全体で70.2%となり、「上場・店頭」グループで83.0%、「未上場」グループでも過半数の64.3%に達した。(表2)逆に八ガキ、電話での受付けは減少を続け、全体でそれぞれ昨年比9%減、2.7%減となった。(表1)同様にセミナーエントリーの受付けもインターネット経由にシフトしてきている。ただセミナーの場合、出席の意思確認などから電話を併用している企業も依然多く、エントリー受付け程にはインターネットに特化していないようだ。(表3・表4)

【1】学生からのエントリー受付け経路

	全	:体	上場·店	頭公開	未」	上場	製造業		非製	造業
(複数回答)		昨年								
インターネット	96.5%	95.5%	97.7%	99.4%	96.0%	93.1%	96.9%	96.7%	96.3%	94.9%
八ガキ(封書)	11.6%	20.6%	8.6%	14.1%	13.0%	24.5%	9.9%	16.5%	12.5%	22.7%
電話	23.7%	26.4%	12.3%	14.4%	29.1%	33.8%	22.0%	24.4%	24.6%	27.5%

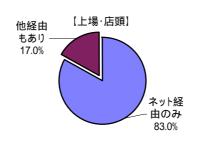
【表1】

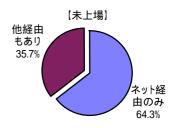
受付け経路がインターネットのみの企業比率

全	:体	上場·店	頭公開 オ		上場	製造業		非製造業	
	昨年								
70.2%	61.5%	83.0%	75.6%	64.3%	53.4%	73.1%	65.5%	68.7%	59.5%

【表2】







【2】学生からのセミナーエントリー受付け経路

	全	全 <u>体</u>		上場·店頭公開		未上場		告業	非製造業	
(複数回答)		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
インターネット	93.6%	91.4%	94.9%	94.3%	92.9%	89.6%	93.0%	92.2%	93.8%	91.0%
ハガキ(封書)	8.0%	11.3%	4.1%	5.1%	9.8%	15.2%	6.7%	8.8%	8.6%	12.7%
電話	30.4%	39.0%	20.1%	28.1%	35.2%	45.7%	27.9%	37.6%	31.8%	39.8%
•										

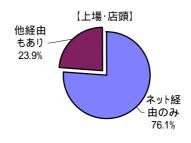
【表3】

受付け経路がインターネットのみの企業比率

全体		上場·店頭公開		未上場		製造業		非製造業		
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
	64.2%	53.4%	76.1%	66.9%	58.7%	44.5%	67.1%	55.2%	62.7%	52.5%

【表4】

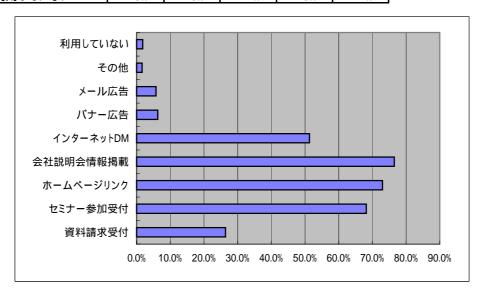






参考:インターネット就職サイトで利用した機能は何ですか?【複数回答可】

	合計	上場·店頭 公開企業	未公開企業	製造業	非製造業
資料請求受付	26.4%	27.3%	26.0%	26.6%	26.3%
セミナー参加受付	68.2%	64.7%	69.8%	64.1%	70.3%
ホームページリンク	73.0%	79.5%	70.0%	74.1%	72.4%
会社説明会情報掲載	76.5%	71.0%	79.0%	70.9%	79.4%
インターネットDM	51.3%	63.3%	45.7%	57.8%	47.9%
バナー広告	6.3%	10.8%	4.2%	3.8%	7.6%
メール広告	5.7%	4.7%	6.2%	4.4%	6.5%
その他	1.6%	2.4%	1.2%	1.9%	1.5%
利用していない	1.8%	1.0%	2.2%	1.3%	2.1%



導入している採用手法・形態

直接接触の機会を導入する企業が今年も増加傾向に

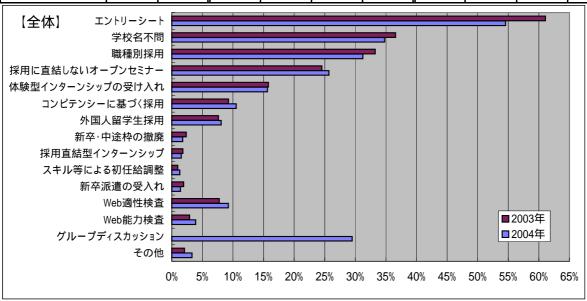
「エントリーシート」は、「上場・店頭」グループの66.7%、「未上場」グループでも過半数に近い48.8%の企業が導入している。 インターネットからの簡便な応募に対する最初のハードルとして、またコンピテンシーなどを確認するためのツールとして、今年も一番 高い導入率であった。しかしながら、昨年対比では全体で6.5%減と数字を落としており、採用環境の厳しさや倫理憲章の影響を考 え

「応募者の減少」を懸念する企業は導入を手控えたのではないかと推測できる。

全カテゴリーで「Web適性検査・Web能力検査」がポイントを挙げており、「コストの安さ」や「受験機会の均等化」というメリットが認知され定着し出した事が伺える。

また、優秀層獲得のために企業理解・仕事理解に基づいた応募者層開拓を目指す企業が増えており、「採用に直結しないオープンセミナー」や「体験型インターンシップ」など、直接接触の機会を設ける企業が増えているようだ。「オープンセミナー」は「上場・店頭」グループで38.1%(昨年比10.1%増)、「体験型インターンシップ」も、微増の0.8%増となっている。

	全	·体	上場·店頭公開		未上場		製造業		非製造業	
		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
エントリーシート	54.6%	61.1%	66.7%	70.2%	48.8%	55.0%	61.0%	64.8%	51.3%	59.1%
学校名不問	34.8%	36.6%	30.8%	31.5%	36.7%	40.0%	26.8%	22.1%	38.9%	44.4%
職種別採用	31.2%	33.2%	32.2%	32.9%	30.8%	33.5%	41.5%	36.8%	26.0%	31.3%
採用に直結しないオー プンセミナー	25.7%	24.5%	38.1%	28.0%	19.8%	22.2%	25.1%	22.9%	26.0%	25.4%
体験型インターンシップの受け入れ	15.6%	15.8%	19.8%	19.0%	13.6%	13.6%	18.8%	22.9%	14.0%	11.9%
コンピテンシーに基づ 〈採用	10.5%	9.3%	13.9%	9.7%	8.9%	9.0%	12.5%	9.5%	9.5%	9.2%
外国人留学生採用	8.1%	7.6%	12.8%	11.8%	5.8%	4.9%	11.5%	13.4%	6.3%	4.5%
新卒・中途枠の撤廃	1.8%	2.4%	0.7%	2.4%	2.3%	2.3%	1.4%	1.6%	2.0%	2.8%
採用直結型インターン シップ	1.5%	1.8%	0.7%	0.4%	1.9%	2.8%	1.7%	1.2%	1.4%	2.1%
スキル等による初任 給調整	1.3%	1.0%	1.1%	0.7%	1.4%	1.2%	1.1%	0.4%	1.4%	1.3%
新卒派遣の受入れ	1.4%	1.9%	2.6%	3.5%	0.9%	0.9%	1.4%	2.4%	1.4%	1.7%
Web適性検査	9.2%	7.8%	13.2%	12.5%	7.3%	4.6%	13.2%	10.7%	7.2%	6.2%
Web能力検査	3.9%	2.9%	6.2%	4.8%	2.8%	1.6%	5.2%	4.0%	3.2%	2.4%
グループディスカッショ ン	29.5%		31.1%		28.7%		22.7%		33.0%	
その他	3.3%	2.1%	3.7%	2.1%	3.2%	2.1%	3.8%	2.4%	3.1%	1.9%



【表1】

内定者フォロー

今年度実施している内定者フォロー

	全	体	上場·店頭公開		未上場		製造業		非製	造業
(複数回答)		昨年		昨年		昨年		昨年		昨年
定期的な懇親会を開催	57.5%	57.9%	54.4%	53.8%	58.9%	60.3%	48.4%	45.4%	62.2%	64.4%
人事より定期的に連絡(E-mail)	56.7%	55.3%	59.8%	59.1%	55.3%	52.9%	61.4%	60.8%	54.3%	52.4%
通信教育を受講させる	30.7%	34.8%	39.5%	44.7%	26.5%	28.8%	35.4%	41.2%	28.2%	31.4%
人事より定期的に連絡(電話)	21.6%	22.1%	19.3%	18.6%	22.8%	24.3%	18.4%	13.4%	23.3%	26.7%
内定者向けのWeb掲示板を用意	15.6%	15.6%	28.0%	25.5%	9.8%	9.7%	21.8%	15.8%	12.4%	15.5%
グループワークなどの課題を設定	8.7%	7.3%	8.8%	8.5%	8.7%	6.6%	7.3%	4.1%	9.5%	9.0%
OB·OGを活用してフォロー	11.3%	8.3%	15.2%	14.2%	9.5%	4.7%	11.7%	9.3%	11.1%	7.8%
e-learning	6.4%	6.0%	10.1%	8.8%	4.6%	4.4%	6.7%	4.1%	6.2%	7.0%
専門学校等に通わせる	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%
その他	14.6%	17.4%	14.2%	17.9%	14.9%	17.1%	11.4%	19.2%	16.3%	16.4%
										【表1】

内定者との面会の頻度(内定式・研修・面談・懇親会等、全て含む)

	全体	上場·店 頭公開	未上場	製造業	非製造業
毎月2回以上	1.0%	1.0%	0.9%	0.3%	1.3%
毎月1回程度	9.4%	7.3%	10.3%	3.1%	12.7%
2ヶ月に1回程度	24.1%	21.0%	25.5%	18.2%	27.1%
3ヶ月に1回程度	19.8%	20.7%	19.4%	19.4%	20.1%
入社までに1~2回程度	44.0%	49.0%	41.7%	56.6%	37.4%
全〈予定していない(会わない)	1.8%	1.0%	2.2%	2.5%	1.4%

【表2】

【参考】: 学生側から見た内定者フォロー 【弊社モニターアンケートより】

【今度どのような内定者フォローを受けたいか?:7月モニターアンケート】

				_	
(複数回答)	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
食事会	48.0%	47.4%	46.3%	49.4%	47.6%
旅行(宿泊無)	11.2%	11.0%	9.7%	11.5%	12.0%
旅行(宿泊有)	27.0%	36.4%	32.0%	23.3%	20.9%
勉強会	36.2%	40.9%	37.7%	34.1%	34.6%
通信教育(郵送形式)	28.8%	29.9%	29.7%	25.2%	33.0%
内定者専用Webサイトで情報交換	33.6%	27.9%	28.0%	36.9%	37.7%
e - learning形式(Web上)の通信教育	27.1%	29.9%	29.1%	24.5%	27.2%
その他	6.7%	5.8%	8.6%	6.4%	6.3%

【表3】

【内定者の集まり(懇親会等)はどのくらいの頻度での開催が望ましいか?: ア月モニターアンケート】

	全体	文系男子	理系男子	文系女子	理系女子
毎月1回程度	19.2%	24.7%	21.1%	19.8%	12.0%
2ヶ月に1回程度	32.6%	33.1%	29.1%	35.7%	30.4%
3ヶ月に1回程度	33.0%	24.0%	33.7%	30.9%	42.9%
出来るだけ多い方が良い	7.9%	9.7%	9.7%	7.0%	6.3%
あまり集まりたくない	7.3%	8.4%	6.3%	6.7%	8.4%

【表4】